

都市公園新時代

～より柔軟な公園利活用と新たな担い手との共創～

開催のご案内

国土交通省都市局では、令和4年2月～9月にかけて「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」を開催し、より柔軟に都市公園を使いこなすための質の高い管理運営のあり方等について議論・検討を行い、同年10月に「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」提言を公表しました。

本提言では、都市公園制度の制定から150周年を迎えた新たな時代の公園は、人中心のまちづくりの中で、ポテンシャルを最大限発揮するため、パートナーシップの公園マネジメントで多様な活用ニーズに応え、地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」を目指すべきとの方向性が示されました。

国、地方公共団体、市民、民間事業者をはじめ、多様な主体が協力して本提言の趣旨を踏まえた取組を加速させていくため、このたび、都市公園の柔軟な管理運営をテーマとするオンラインセミナーを開催いたします。

開催日時

令和5年12月21日(木) 14:00～17:15

申込と参加方法

参加方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

参加費：無料

申込方法：Peatix による事前申込

お申込は URL または二次元バーコードから
<https://park20231221.peatix.com>



申込締切：令和5年12月18日(月)

造園CPD認定プログラム3.0単位(申請予定)

概要

第1部 事例紹介：市民の力がみどりとまちの価値を創造する！

第2部 事例紹介：行政が仕掛ける公共空間活用トライアル、そのマインドとは？！

第3部 トークセッション：都市公園新時代に求められる

柔軟な公園利活用と新たな担い手との共創とは

主催

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

【問い合わせ先】

運営委託会社：一般財団法人公園財団 公園管理運営研究所

E-mail：kenkyubu@prfj.or.jp

電話：03-6674-1188

お申込み後の注意事項

- ・ Peatix のイベント視聴ページからアクセスしてください。
 - ・ Zoom 入室時の入力欄には、申込時のフルネームとメールアドレスをご入力ください。申込時と違うお名前で開催された場合、参加確認ができないため、CPD を登録することができなくなりますのでご注意ください。
- ※配信内容の録画・録音はご遠慮ください。

14:00 開会 あいさつ

伊藤 康行 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長

14:05 第1部 市民の力がみどりとまちの価値を創造する！

事例① 地域みんなで管理・利用し幸せになる公園経営
～公園を行政や企業の支援もいただいて、
地域の暮らし手が主役になって管理し利用しよう～

● 富永 一夫
(一財) 地域活性化センター フェロー

1999年47歳で脱サラし、NPO フェージョン長池を創業。震災が発生した時に、住民同士で有事の共助をするためには、日常的な小さな共助を育てる必要がある。2006年八王子市都市公園指定管理者になり、地域みんなで幸せになるための公園経営を模索中。2017年65歳で事業承継を完了、現在71歳。



14:35 事例② まちを舞台に ～花のまちづくり～



● 内倉 真裕美
ガーデンアイランド北海道理事長、恵庭花のまちづくり推進会議会長

全国的に有名になった「花の街」北海道恵庭市恵み野の仕掛け人の一人。9つの花の組織を立ち上げ花のまちづくりを展開。全国的な賞も多数受賞。2001年より北海道のオープンガーデン雑誌「オープンガーデンオブ北海道」を発行。洞爺湖サミットの花の町並みを提案。地元フレスポガーデン「みんなの丘」のデザイン担当。2014年～恵み野商店街のガーデンプロデューサーとなり2015年「第26回緑の景観デザイン賞」最高賞の国土交通大臣賞受賞他数々を受賞。第39回全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」開催に向けて行動を興し、人口7万人の恵庭市をメイン会場とし市民による開催を提案し実現。

15:05 第2部 行政が仕掛ける公共空間活用トライアル、そのマインドとは？！

事例③ リスクを背負わずして公共空間に笑顔があふれるか？
～公共空間の使いこなしに向けた突破力と行政マインド～

● 栗本 光太郎
豊田市 市長公室 経営戦略課 副主幹

2021年豊田市役所経営戦略部長を最後に定年退職（技術系土木職）。現在は再任用職員として、現役時代につながれたご縁をもとに行政施策となるタネを探し回っている。都市整備部長時代（まちづくりに従事）は、リスク回避型職員と自己中型既得権益者との対峙に明け暮れていた。



15:35 事例④ 公園をリビングラボに変える社会実験「おそとチャレンジ」
～みんなの「やりたい」を叶える、開かれた場所へ～



● 葉山 和則
京都市 総合企画局 都市経営戦略室 戦略マネジメント課長

2003年に京都市役所入庁。広報等企画業務に多く携わり、日本広報協会の主催する「全国広報コンクール」で内閣総理大臣賞等を受賞。2020年から3年間、公園利活用の担当となり、多様な主体の参画による柔軟な公園運営の仕組みづくりに尽力した。

16:05 休憩 (10分)

16:15 第3部 トークセッション

都市公園新時代に求められる柔軟な公園利活用と新たな担い手との共創とは



町田 誠 (モデレーター)
(一財) 公園財団常務理事
1982年建設省入省。国際園芸・造園博覧会ジャパンフローラ2000、2005年日本国際博覧会(愛知万博)、東京都公園緑地部長、国土交通省公園緑地・景観課長など。国土交通省PPPサポーター。

内倉 真裕美

葉山 和則

辻野 恒一



国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 国際緑地環境対策官

栗本 光太郎

富永 一夫

1997年に建設省に入省し、都市局、中部地方整備局、九州地方整備局、滋賀県を経て、2021年7月より現職。国際緑地環境対策官として公園緑地事業予算、都市公園整備・管理運営に関連する業務を担当。

17:15 閉会